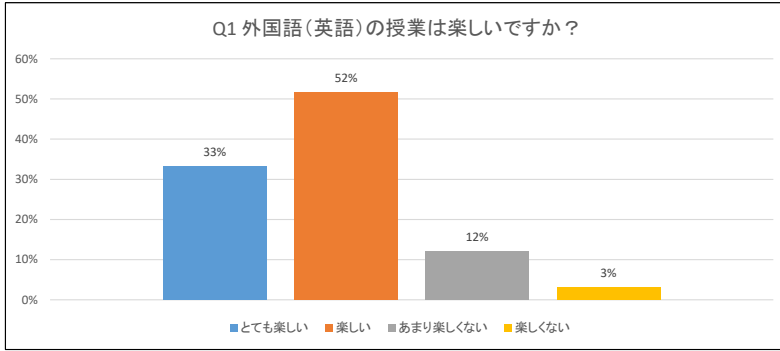
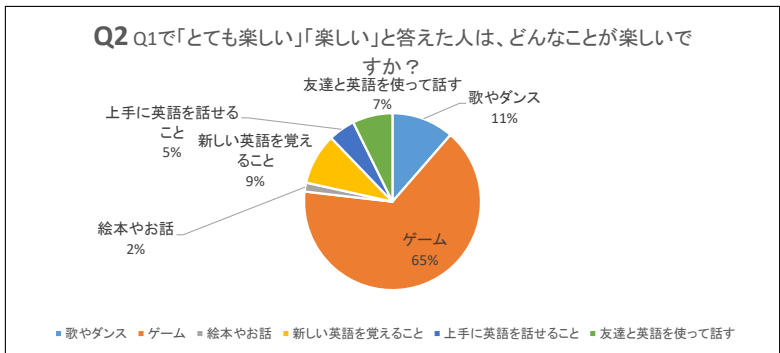


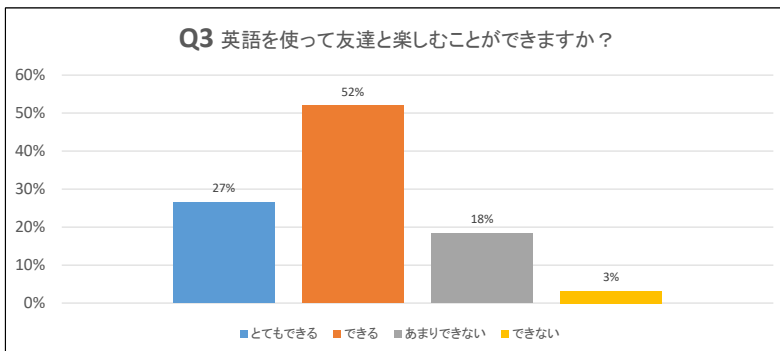
令和7年度外国語(英語)の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察(不知火小)



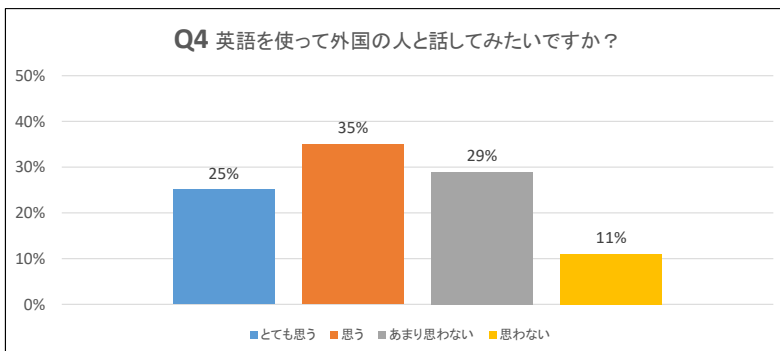
【Q1について】
 外国語(英語)の授業について、「とても楽しい」「楽しい」と回答した児童の割合は85%であり、好意的に受け止めている児童が多い。「とても楽しい」の割合は、前年度との比較において、ほぼ変わらない状況にある。



【Q2について】
 児童が楽しいと回答した活動として最も多かったものは「ゲーム的な活動」(65%)であり、前年度との比較においても、割合が増加している。また、二番目に多かった項目は「歌やダンス」であり、全体として、活動を伴うものを好む傾向がある。一方、「友達と英語を使って話す」「上手に英語を話せること」については、前年度と比較して割合が若干減少している。



【Q3について】
 英語を使って友達と楽しむことについて、79%の児童が「とてもできる」「できる」と回答している。英語を使って友達とコミュニケーションを図ることについて、肯定的に捉えている児童が多く、前年度との比較においても、割合は増加している。



【Q4について】
 「英語を使って外国の人と話してみたいですか？」という問いに対して、60%の児童が肯定的に回答している。前年度との比較においては、肯定的な回答の割合はほぼ変わらない状況にある。

【保護者・学校関係者からの意見・要望等】
(保護者)
 楽しみながら外国語(英語)の学習に取り組んでほしいという意見や、英語を使って友達とコミュニケーションをとる力を高めてほしいという意見が見られた。
(学校関係者)
 外国語(英語)の授業の中で、英語を使ってコミュニケーションを図る楽しさを実感させ、授業以外の場面においても、自分から進んで英語を使って話してみようとする意欲を高めていきたい、という意見が見られた。

【考察・今後の展望等】
 外国語(英語)の授業や、英語を使って友達と楽しむことに対して肯定的に捉えている児童が多く、全体的に良好な傾向が見られる。
 今後、英語を使って他者とコミュニケーションを図ることの楽しさや必要性を実感できる授業を展開していくことで、自分から進んで英語を使うことへの意欲をさらに高めていきたい。